

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ティモシェンコ前首相に対する刑事事件

- ・12日、キエフ市控訴裁判所は、ティモシェンコ前首相の拘束の決定を違法とする控訴に関する審議を拒否。15日、ティモシェンコ前首相は、ウクライナで革命が起こるのは時間の問題である旨発言。
- ・15日及び18日、キレフ・キエフ市ペテルスク地区裁判所裁判官は、ティモシェンコ前首相に対する予防措置変更を求める旨の請願を再度却下。
- ・17日、ユーシチェンコ前大統領は、キエフ市ペテルスク地区裁判所に出廷、2009年に対露ガス価格契約に関する証言を行い、プーチン露大統領及びミレル露ガスプロム社長の証人としての招請が必要である旨発言。これに対し、同日、露大統領府高官は、ユーシチェンコ前大統領の証言は事実 に即していない旨発言。
- ・18日、クラフチュク元大統領は、ユーシチェンコ前大統領も2009年の対露ガス価格契約における責任を負っているため、ティモシェンコ前首相を拘束するならばユーシチェンコ前大統領も拘束すべきである旨発言。
- ・18日、ティモシェンコ前首相は、体調不良を理由に未決囚拘置所における専属医との面会を要求。一方、キレフ・キエフ市ペテルスク地区裁判所裁判官は、ティモシェンコ前首相は未決囚拘置所担当医の診察を拒否しているとし、同要求を却下。

#### ティモシェンコ前首相の拘束に対する国際社会の懸念表明

- ・17日、ラトビア外務省は、在ラトビア・ウクライナ大使に対し、ティモシェンコ前首相の拘束に関するラトビア政府の懸念を伝達、EU基準に準拠した公正で透明性がある独立した裁判の確保をウクライナに要求。
- ・19日、メンEU外交部代表は、ティモシェンコ前首相の健康状態の悪化に対する憂慮を表明。
- ・19日、仏外務省は、ティモシェンコ前首相が適正な医療行為を受けるための方策を講じるようウクライナ政府に呼びかける旨の声明を発表。

#### 地域党への政党統合の動き

- ・16日、アザーロフ首相(地域党)及びチギブコ副首相兼社会政策相(「強いウクライナ」党代表)は、地域党が「強いウクライナ」党を統合することを決定した旨発表。アザーロフ首相は、地域党のイニシアティブは他党首脳も支持しているとし、統合プロセスの継続を示唆。
- ・17日、パローハ非常事態相(「統一センター」党代表)は、現

時点では「統一センター」党は地域党への統合を検討していないが、将来的に同可能性は排除されない旨発言。

- ・17日、ヤツェニユーク「変化の前線」代表は、次期選挙に向け野党を統合することは理に適っていない旨発言。

#### その他

- ・17日、クリミア自治共和国政府は、ジャルティ・クリミア自治共和国首相が療養先施設で死去した旨発表。18日、ヤヌコーヴィチ大統領は、同首相の葬儀に出席。
- ・19日、アザーロフ首相は、医薬品調達に関する保健省の対応が不十分であるとし、早急に対策が講じられなければアニシチェンコ保健相を罷免せざるを得ない旨発言。

#### 世論調査

##### [ラズムコフ研究所]

- ・現政権が政治的圧力を利用していると考える: 48.0%
- ・刑事訴追が政治闘争に利用されていると考える: 49.9%
- ・近日中に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(括弧内は6月時点の支持率)  
地域党: 15.4%(16.5%)、BYT: 13.7%(13.4%)、  
「変化の前線」党: 8.8%(7.0%)、「ウダール」党: 4.6%(3.1%)、「強いウクライナ」党: 4.5%(5.3%)、全党に反対: 10.3%(9.8%) 等
- ・近日中に大統領選挙が実施された場合の候補者支持率(括弧内は6月時点の支持率)  
ヤヌコーヴィチ大統領: 17.3%(17.2%)、ティモシェンコ前首相: 14.4%(14.4%)、ヤツェニユーク「変化の前線」党首: 8.8%(8.2%)、チギブコ副首相兼社会政策相: 5.0%(5.2%) 等
- ・調査は8月10日から17日にかけて2,007名の成人を対象に実施。標準誤差は2.3%以内。

### 2. 経済

#### マクロ経済

##### ・13日から19日の国家統計局発表

- 1～6月期における貿易赤字額は、昨年同期比11億6,740万ドル減少の18億110万ドル。サービス部門については、37億850万ドルの黒字。
- 1～6月期における海外からの直接投資累積額は、昨年未比5.5%増の472億570万ドル。ウクライナ国内からの1～6月期における直接投資累積額は、同1.2%増の70億8,240万ドル。
- 7月の工業生産高は、前年同月比8.7%、前月比2.2%の上昇。
- 7月の失業率は、前月比0.1ポイント低下の1.7%。

・16日、アザーロフ首相は、7月のGDPについて前年同月比8%の成長と発表。

#### 政策

・13日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アザーロフ首相及びアルプゾフ中央銀行総裁に対し、世界金融市場不安の影響緩和計画を19日までに作成するよう指示。

#### 農業

・15日、農業政策・食料省は、同日時点における穀物及び野菜類の収穫を3,370万トンと発表。

#### ガス問題

・16日、ボイコ・エネルギー石炭産業相は、ミレル露ガスプロム社長と会談、ガス及びその他の分野における協力に関するウクライナ側の提案を手交。

・16日、ミレル露ガスプロム社長は、ガスプロム側より、露・ベラルーシの協力関係をモデルとした関係(露は、ベラルーシのガス輸送会社「ベルトランスガス」社の50%を所有。ベラルーシ向けガス価格は千立方メートルあたり244.8ドル)を提案した旨発言。

・16日、アザーロフ首相は、ベラルーシと同様のモデルでガス分野における協力を露と推進するつもりはなく、ウクライナのエネルギー部門は、欧州エネルギー共同体の条件に沿って実施される旨発言。

・16日、国家統計局は、2011年1~7月の国内ガス採掘量を、前年同期比で1.4パーセント減、111億立方メートルと発表。

・19日、シマトコ露エネルギー相は、ロシアとウクライナとの間で署名されたガス供給契約の正当性を少しも疑っておらず、従来通り署名された契約が国際法と政府間協力の精神に則っていると考えているとし、契約が破棄される場合には、双方とも裁判所に訴える権利を有する旨発言。

### 3 . 外政

16~17日、メレドフ・トルクメニスタン副首相兼外相の来訪

・17日、ヤヌコーヴィチ大統領は、メレドフ・トルクメニスタン副首相兼外相と会談、二国間協力の強化の展望につき協議。メレドフ・トルクメニスタン副首相兼外相は、ヤヌコーヴィチ大統領のトルクメニスタン公式訪問の予定に言及。

・17日、アザーロフ首相は、メレドフ・トルクメニスタン副首相兼外相と会談、燃料エネルギー及びその他の分野における二国間協力につき協議。アザーロフ首相は、ウクライナ・トル

クメニスタン政府間委員会が8年に亘り開催されていないことから、同委員会の活動再開が二国間関係強化には必要である旨発言。

18日、グリシチェンコ外相のオーストリア実務訪問  
・グリシチェンコ外相は、国際会議「ザルツブルグ・トリロジー」に参加、他にオーストリア、アルメニア、グルジアの外相が参加。

19日、第5回「世界ウクライナ人フォーラム」の開催  
・グリシチェンコ外相は、法に厳格に則ってあらゆる政治勢力に対する汚職対策を継続する旨表明、大統領の祝辞を代読。これに対し、会場からは「恥だ!」などの野次が飛び、会場は混乱。

#### その他

・15日、オバマ米国大統領は、ヤヌコーヴィチ大統領に対し、ウクライナ独立20周年を祝福する書簡を发出。

・18日、フォムシキン「ウクライナ人民党クリミア支部」代表は、露黒海艦隊が滞納している年金等の負債が2,000万UAHに達しているとし、ウクライナの治安機関には同艦隊の資産を没収する権利がある旨発言。

・19日、ソビャーニン露モスクワ市長は、同市が2011年にセヴァストーポリ市在住の退役軍人のための補助金を倍増した旨発言。

### 4 . 二国間関係

#### 経済協力

・19日、我が国による平成23年度対ウクライナ草の根・人間の安全保障無償資金協力2案件(「スターロコスチャンチニフ地区中央病院における医療機材改善計画」及び「チェルノブイリ原発事故放射能汚染地域オレフスク地区における医療機材改善計画」)のG/C署名式を実施。

### 5 . 防衛

・15日、セルゲイ空軍司令官率いる軍事代表団がベラルーシを公式訪問、両国空軍の発展分野での経験交換が目的。

・15日、国防省は、国連キプロス平和維持軍スロバキア派遣団へのウクライナ平和維持軍参加を許可する大統領案を閣僚会議が承認した旨発表。

(了)